

小さな異常を、より正確に。

## 近畿大学医学部附属病院のPET/CT検査

PET/CT装置は「PET検査」と「CT検査」の良いところを組み合わせることで、より診断情報の多い画像を得ることができる装置です。他の検査よりも精度が高い上、たった一度の検査で全身を診ることも可能。さらに短時間で終わり、痛みや不快感がないのも大きなメリットです。一般的にはがんや炎症の病巣を調べることに利用されますが、特定の認知症やてんかん、心筋梗塞を診断するにも効果的。当院では昨年3月に導入された新機器で、さらに小さな異常を、さらに鮮明に写し出せるようになりました。新しいPET/CT装置による検診を受けてみませんか？



### PET/CT検査の流れ



安静にしている間でも水分を充分補給し、  
トイレで排尿してください。  
撮影前に排尿していただきます。

※使用する薬剤によって安静時間などは変わります。



受付連絡先

高度先端総合医療センター (PET分子イメージング部) 受付

TEL (072) 366-0221 (内線2604、2605) FAX (072) 366-3690

[受付時間] 月～金/9:00～17:00 土/9:00～12:45

 **近畿大学**  
医学部附属病院

<http://www.med.kindai.ac.jp/huzoku/>

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377-2  
TEL (072) 366-0221 (代表) / FAX (072) 366-0206

お知らせ

広報誌「きずな」のバックナンバーは、病院ホームページよりご覧いただけます。  
アンケートもホームページ上で実施しておりますので、ぜひご協力お願いいたします。

<http://www.med.kindai.ac.jp/huzoku/kizuna.html>

きんだいびょういん

検索

最先端の技術と医療とあなたを結ぶ

# きずな

Vol.18  
Summer-Autumn

Kindai  
University  
Hospital

## PICK UP 特集

アレルギーセンター / 難治てんかんセンター / 肝疾患対策センター / 人工関節センター



*Kindai Now*

地域周産期母子医療センターとして  
安全な出産の提供を

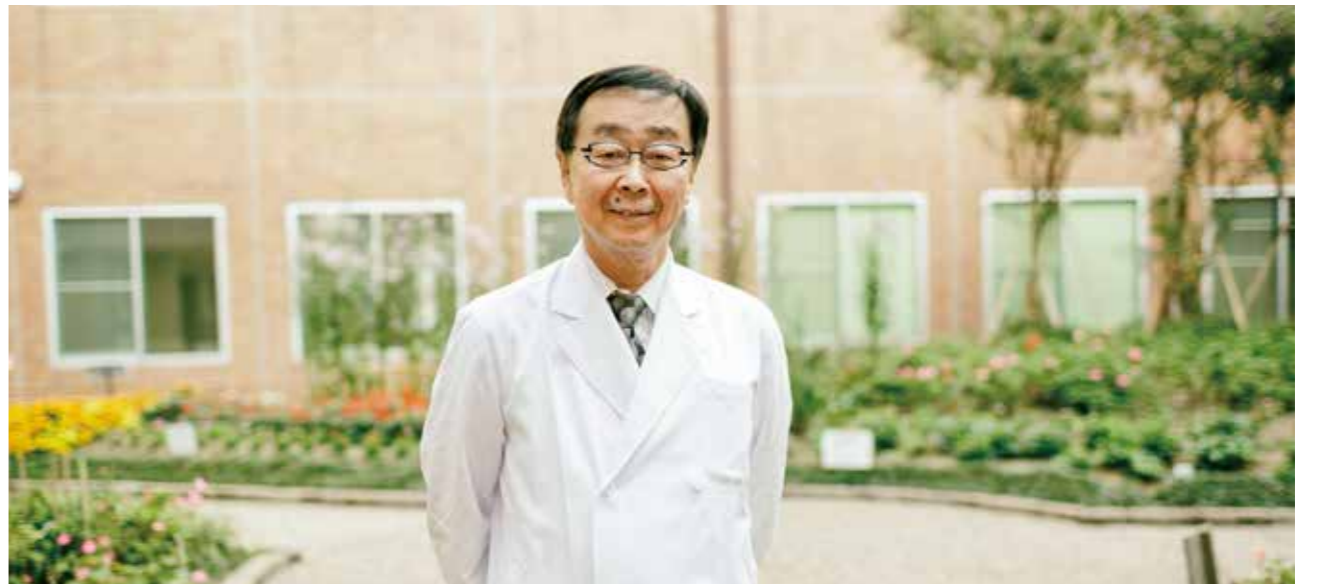
今、気になる病 胃がん / 大腸がん

特集 1 クリニカルシーケンスとは？

特集 2 遺伝子診療部



近畿大学医学部附属病院



理念

患者本位の開かれた病院として、  
安全で質の高い先進医療を提供します。

基本方針

1 教育病院として、  
人に愛され、信頼され、  
尊敬される医療人を育成します。

2 特定機能病院として、  
医学医療の進歩に関与し、  
社会に貢献します。

3 南大阪における基幹病院  
および救急災害病院として  
地域医療に貢献します。

4 働きがいのある病院として、  
チーム医療と環境整備に努力します。

近畿大学医学部附属病院は1975年の開院以来、  
大学病院ならではの豊富な診療科を用意して最先端の医療をお届けしてきました。  
また各診療科が連携することにも力を入れ、  
同じ疾患でも外科的見地、内科的見地の両面で  
アプローチできるのも当院の大きな魅力でした。  
実際に「がんセンター」では多様な外科・内科、  
リハビリテーション部、放射線治療科などが、  
「脳卒中センター」では脳神経外科、神経内科、救急部、放射線科などが、  
「センター」という傘の下に集まって治療にあたっています。  
今回、こうした取り組みをさらに強化していくためにアレルギー、肝疾患、難治てんかん、  
人工関節という4つの分野で、新しくセンターを開設することとなりました。  
患者さんにとっては各診療科の垣根を超えた医療をお受けいただけるだけでなく、  
まずはセンターにご相談いただくことで  
「どの診療科にかかればいいのかわからない」といった不安も解決していただけます。  
最新の医療をひとりでも多くの患者さんへ。  
ますます便利になっていく近畿大学医学部附属病院に、どうぞご期待ください。

病院長 東田有智

4つのセンターの新設で  
これまでよりも患者さん想いの病院に。

患者さん用駐車場ご利用案内

当日受診の患者さん	
入場より3時間まで	100円
入場より4時間まで	300円
以降60分 100円	
当日1日最大料金 1,000円	

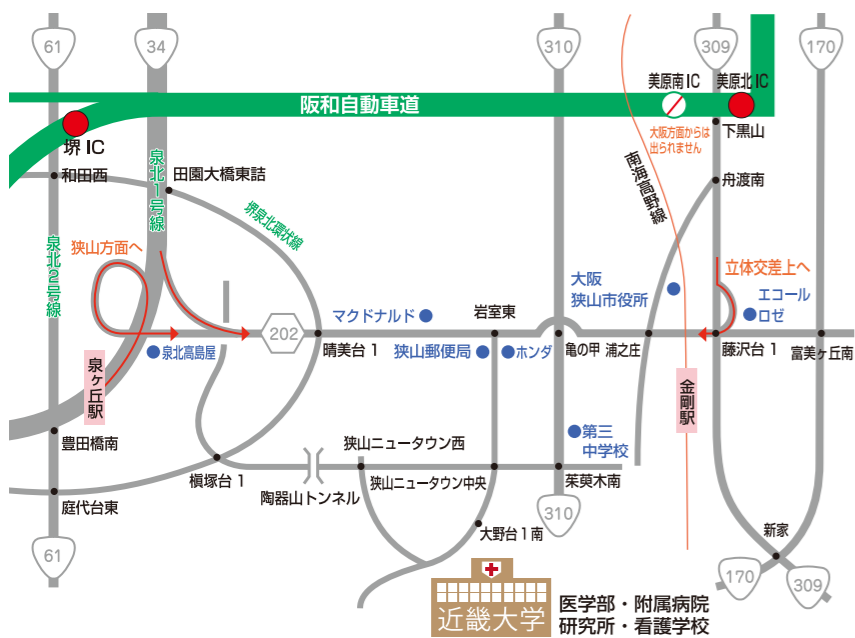
お見舞いの方・一般の方	
入場より1時間まで	300円
以降60分 200円	

最大料金1,000円が適用

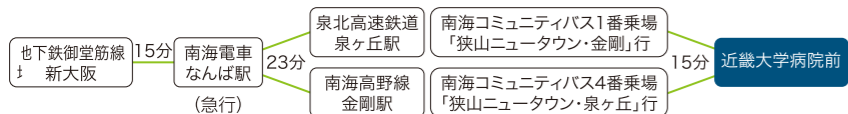
最大料金適用日時	平日・土 14:00～24:00 日・祝 13:00～24:00
入場より最初の30分無料	

当日受診の患者さんは、駐車券を院内へお持ちいただき、「2階会計窓口」で割引処理を行ってください。精算は屋外(病院棟1階出入口付近)の事前精算機をご利用くださいますよう、お願い申し上げます。

アクセス



電車・バスでお越しの場合



各診療科のご案内

<b>3F</b>	産婦人科、小児科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、疼痛制御センター(麻酔科)、形成外科、歯科口腔外科、東洋医学診療所
<b>2F</b>	循環器内科、内分泌・代謝・糖尿病内科、消化器内科、血液・膠原病内科、腎臓内科、神経内科、腫瘍内科、呼吸器・アレルギー内科、メンタルヘルス科、外科(上部消化管、下部消化管、肝胆膵)、外科(肺)、外科(乳腺内分泌)、外科(小児)、脳神経外科、心臓血管外科、心療内科、漢方診療科、緩和ケア科
<b>1F</b>	整形外科、放射線治療科、放射線診断科、リハビリテーション科

外来受付時間

平日	土曜	休診日
予約外又は紹介状をお持ちでない患者さん 8時30分～11時30分	8時30分～11時00分	日曜日・祝日 創立記念日(11月5日) 年末年始(12月29日～1月3日)
紹介状をお持ちの患者さん 8時30分～14時00分		

※ 当院での治療等を必要とされる場合、紹介医からの紹介状が原則となっておりますので、当院宛の診療情報提供書(紹介状)を持参くださいますようお願いいたします。  
※ 初診時に紹介状をお持ちでない方には、保険外併用療養費として10,800円(税込)をご負担頂きます。  
※ 診療科によっては、完全予約制や休診日もございますので、詳しくは各診療科にお問い合わせください。

CONTENTS

理念・ご案内	P.1	研究紹介	P.10
病院長メッセージ	P.2	[今、気になる病]大腸がん/胃がん	P.11～12
[PICK UP 1]アレルギーセンター	P.3	[薬剤部からお伝えしたいこと! ]クスリノハナシ	P.13
[PICK UP 2]難治てんかんセンター	P.4	[Kindai栄養部発信! ]おいしい栄養食レシピ	P.14
[PICK UP 3]肝疾患対策センター	P.5	Message from Nurse	P.15
[PICK UP 4]人口関節センター	P.6	つなぐ/卒業生の今	P.16
[特集1]クリニカルシーケンスとは?	P.7	イベントスケジュール	P.17
[特集2]遺伝子診療部	P.8	各相談窓口のご紹介	p.18
[Kindai Now] 地域周産期母子医療センター	P.9	PET/CT検査のご案内	裏表紙

PICKUP 1 **Newオープン**  
アレルギーセンター



日本人の2人に1人が持つといわれるアレルギーの拠点として。

「アレルギー疾患対策基本法」が国会で成立されたことも背景に、近畿大学医学部附属病院では大阪のアレルギーの拠点病院として「アレルギーセンター」を開設。西日本で先駆けてアレルギーの治療や研究、啓蒙活動などを強化していくこととなりました。ここに関わる診療科は呼吸器内科・外科、小児科、耳鼻咽喉科、皮膚科など多岐に渡ります。各科が連携して最適な治療を提供するので、「どの診療科を受診すればいいかわからない」

「症状がさまざまな部位に出ている」という方も安心して来院していただけます。また、現在はインターネットで色々な情報があふれる時代。たとえばステロイドの使用方法など、真偽不明のものも無数に掲載されています。アレルギーセンターはそうした問題にも立ち向かい、患者さんに確かな情報をお伝えすることも大切な役割。検査から治療、ご相談まで、どうぞお気軽にアレルギーセンターをご利用ください。

アトピー性皮膚炎、喘息、食物アレルギー、花粉症、ハチ毒など、アレルギーに関する悩みや疑問をたくさんお持ちではないでしょうか。それらを解決できる場所としてみなさんにご利用いただくことが、当アレルギーセンターのひとつの目標です。また、これからは当院の他診療科だけでなく、地域のクリニックとも緊密に連携をしていき、アレルギーを持っていたとしても暮らしやすい地域にしていきたいと考えています。

呼吸器・アレルギー内科 教授 東田 有智



PICKUP 2 **Newオープン**  
難治てんかんセンター

薬が効かない難治てんかん患者さんに光を。

日本に100万人もの患者さんがいるといわれる「てんかん」。小児特有の疾患と誤解されてきましたが、実際は60歳以降になって脳卒中の後遺症やアルツハイマー病など脳の老化から引き起こされる場合も多く、高齢化に伴って患者数はますます増加していくことが予想されています。てんかん診療は小児科、脳外科、神経内科、精神科が主に診療を行っており、成人期には小児科以外の3科が担当をしています。ところがこの3科は個別に診療をしていることが多く、診療科同士の連携が図られていないのが現状。近畿大学医学部附属病院ではこの課題に取り組むため、薬の効果が不十分な「難治てんかん」の患者さんを対象に、各診療科や薬剤師・リハビリ・医療相談など

が包括的な医療を提供する「難治てんかんセンター」を開設することになりました。発作消失が見込める手術治療、最適な薬物治療をはじめ、経験豊富な専門家が患者さんとご家族をサポートいたします。てんかんの外科治療は発作消失が見込めるかを正確に見極め、手術につなげていくことが大切。さらに患者さんが社会的にハンデキャップを経験しなくて済むように、できるだけ早く、若年のうちに手術を実施する最新の設備を備えています。また、どこで診てもらえばよいか分からないという、いわゆる「てんかん難民」の方たちへ情報を発信し、紹介することも使命。当センターでは、治療の選択肢を包括的にアドバイスいたします。

外科的治療は発作の消失が見込めるかを正確に見極め、手術につなげていくことが大切。さらに患者さんが社会的なハンデキャップを経験しなくて済むように、できるだけ若いうちに手術を実施する体制づくりを目指していきます。また、どこに診てもらえばよいか分からないという、「てんかん難民」の方たちへ情報を発信し、受け入れていくことも使命。当センターでは、治療の選択肢を包括的にアドバイスさせていただきます。

脳神経外科 教授 加藤 天美

PICKUP 3

# 肝疾患対策センター



2つのセンターの連携を高めて肝疾患にさらなる医療の充実を。

近畿大学医学部附属病院ではこれまで「肝疾患診療連携拠点病院」として「肝疾患相談支援センター」で肝炎、肝がん、肝硬変などの治療や、早期発見・予防のための啓蒙活動、そして医療従事者への教育などを実施。さらに「肝がん高度先端治療・研究センター」で多くの肝がん患者さんを受け入れ、最新の治療も数多く行うなど、日本で最も進んだ肝がんの治療・研究機関のひとつとして高い評価を得てきました。今回のセンター化では、この2つ

のセンターを傘下に置くように「肝疾患対策センター」を新設。肝疾患の患者さんの窓口となってさまざまなご相談に対応するほか、肝がんの根治治療と再発予防を目指す免疫療法などの治療もますます充実させ、最新の情報を発信する重要拠点となっていく予定です。治療はもちろん、他院の治療方針に疑問があるとき、他の可能性も探りたいときにも「肝疾患対策センター」へお気軽にご相談ください。

肝がんの研究や治療はとても進んでおり、進行がんであっても根治の可能性がとて高くなってきました。さらに専門医の技術力も高く、他院では難しいとされたラジオ波による治療も当院では可能になる場合もありますので、ぜひご相談いただければと思います。検診などで肝臓の数値が悪いと言われた方は、一度当院で精密な検査を受けてみるのがおすすめです。

消化器内科 教授 工藤 正俊

# PICKUP 4 人工関節センター



安心で、安全な人工関節を手に入れて健やかな一歩を。

加齢などによってすり減った股関節、膝関節などを人工関節に置き換える手術はすでに一般的になりました。高齢化に伴い手術件数は増え、その数はこの10年間で2倍にも達したとされています。また、人工関節手術を看板に掲げるクリニックも珍しくなくなりました。その一方であまり知られていないのが、人工関節手術には重篤な合併症を引き起こすリスクがあるということ。命に関わることはないと思われがちですが、肺血栓塞栓症や動

脈血栓、その他の感染症を生じるケースもまれではありません。そこで近畿大学医学部附属病院ではみなさんに安心して人工関節を手に入れ、痛みや不快な症状を取り除き、再び健やかな日常を過ごしていただけるよう「人工関節センター」を開設。実績豊富な医師が執刀にあたるだけでなく、各内科とも連携。高血圧、糖尿病、心臓病など、内科疾患のある方の合併症のリスクを限りなく抑えながら手術できる環境を整えます。

糖尿病を持つ患者さんの場合、血糖値のコントロールがうまくいっていない状態で手術をすると術後に感染症を引き起こすケースも。当センターではそうした場合には事前に連携する診療科とチームを組み、万全の状況を整えます。正しく手術すれば痛みも取れ、その後の健康にも役立つ人工関節。股関節や膝関節に痛みがあるままだと行動範囲が狭まり、体の衰えも早まります。ぜひ安心して手術を受け、健やかな毎日を送ってほしいですね。

整形外科 教授 赤木 将男

## 特集 2

# 遺伝子診療部

「遺伝性の疾患はご本人だけでなく、血縁関係にある方にも関わる問題。また、治療方法が確立されていらないものが多いのも特徴です。しかし近年では遺伝子検査によりその原因がわかるように。保因者、発症前、出生前の診断もある程度できるようになりました。」



幅広い疾患や悩みに対応しています。

がん治療を効果的に進めるための検査のほか、先天性疾病、胎児異常など、さまざまな遺伝子検査を行っています。「血縁者に遺伝性疾患や先天的な障害のあるひとがいて、自分や子供が同じ病気になるのではないかと不安」「高齢妊娠のために胎児のことが心配」など、遺伝子に関する悩み、不安をお持ちの方はぜひご相談ください。

### 遺伝カウンセラーが決断をサポート。

当院の遺伝子検査では、専門スタッフによるカウンセリングを検査前に行っています。遺伝子検査結果を知るといことは、ご本人やご家族のその後の人生を大きく左右することにもなりかねません。検査をする・しない、どちらの決断も同じくらい尊いこと。その決断をご本人ができるようにサポートするのも遺伝子診療部の役割です。



お問い合わせ先: 遺伝カウンセラー直通 072-366-0221 (内線5299)

## 特集 1

# クリニカルシーケンス

「クリニカルシーケンス」とは患者さんの遺伝子を調べて、診断・治療に役立てること。当院では最先端機器を導入し、がん患者さん一人ひとりの遺伝子から、その患者さんに最適な治療法を見つけ出だす研究プロジェクトを実施しています。」



### 1000人以上のがん患者さんの遺伝子を解析。

がんの治療は発生した臓器の特徴に応じて行いますが、どの臓器から発生したのか特定できなったり、珍しいがんの場合は治療方法を決定できない場合があります。そんなときに役立つのが遺伝子を調べて発生や治療法を見つける「クリニカルシーケンス」。これまですでに1000人以上のがん患者さんの遺伝子を解析してきました。

### 遺伝子解析の無償提供を。

これまでは公的研究資金などをもとに患者さんには無償で提供ですが、同プロジェクトに対する公的資金提供が昨年度をもって終了してしまいました。そこで現在はインターネット上で資金を募るクラウドファンディングを実施中。これからも患者さんに無償提供できることを目指して、ひとりでも多くの方のご協力をお待ちしています。

8月10日〆切 無償提供をつづけるために、クラウドファンディング実施中!



## 安心して出産に臨める 地域周産期母子 医療センターを目指して



小児科  
竹村 司 教授



産婦人科  
松村 謙臣 教授



救命救急センター  
村尾 佳則 教授



### ハイリスク分娩や、重症新生児の 受け入れを万全の体制で。

**竹村教授** 近畿大学医学部附属病院は厚生労働省から『地域周産期母子医療センター』に指定されています。さらに産婦人科は周産期救急搬送システムOGCS(産婦人科診療相互援助システム)への参加機関、救命救急センターは大阪府指定の最重症妊婦受け入れ機関として、ハイリスク分娩や重症の新生児の受け入れを積極的に行っているのが特徴です。

**松村教授** 産婦人科は週数制限なく受け入れているのですが、その際に怖いのが合併症です。ところが当院には心臓外科、小児外科、眼科、透析室など、分娩部以外のスペシャリストが豊富なので自信を持って受け入れることができます。

### 各診療科のスペシャリストが出産をバックアップ。

**村尾教授** それは大学病院ならではの強みと言えるでしょうね。

**松村教授** そうですね。また、ハイリスクな妊産婦の受け入れ、という点では救命救急センターの村尾先生にもとてもご協力をいただいています。

**村尾教授** OGCSシステムへの参加が決まった際に、産婦人科と救命救急センターでは3つの協力事項を確認しました。一つ目は緊急帝王

切開が必要で手術室が満室の場合には、救命救急センターの処置室を利用するという。二つ目は産科的危機的出血が起こった場合、直ちに大量輸血できる準備を整えること。そして三つ目が緊急母体搬送があった場合には輸血、気管挿管などの全身管理を救命救急センターが担当するということです。

### 南大阪医療圏で、安心して出産に臨めるように。

**松村教授** 命を救う専門家が近くにいるのは本当に心強いですね。また小児科の竹村先生にも、NICUにいつでも入室できるようにして欲しいと少々無理なお願いをしました。

**竹村教授** 現在NICUは9床、GCUは18床で合計すると在阪医学部附属病院では最大。当院ではGCUをうまく使いながら、いつでもNICUを利用できるようにしています。また、NICU退院後もフォローアップ外来はもちろん、全小児期、思春期まで継続して医療を提供できるのもポイントだと思います。

**松村教授** 地域の医療機関がすぐに当院に相談できる『周産期コール』というものはじめました。妊産婦さんが直接当院にかかっても万全の周産期医療を提供できるように。こうした取り組みはますます充実させていく予定です。これからこの地域で出産を控える皆さんは、どうぞ安心して臨んでいただければと思います。

NICU: 新生児特定集中治療室 GCU: 回復治療室

研 究

紹 介

01

### ジカウイルス感染による 神経合併症の発症に新仮説。

微生物学教室はジカ熱による「小頭症」や「ギランバレー症候群」の発症に、悪玉抗体が由来とする3つの可能性を提唱。発症のメカニズムが未だに解明されていないこれらの予防、治療の新たな開発につながるかもしれません。(微生物学教室)



02

### 何度でも型どりできる サーマルギプスを発売。

熱を加えることで患者さんの手指に合わせて自由に成形できる上、固まった後は折り曲げ強度が従来の2倍でしっかりと保護・固定できるギプスを新開発。今後は手首、足首、腕、肘など、大きな部位でも使用できるフリーサイズギプスを開発していく予定です。(形成外科学教室)



03

### 前立腺がん治療薬の 開発へ新たな一歩。

近畿大学医学部泌尿器科学教室と製薬会社「アストラゼネカ」は新薬開発に向けた共同研究に関する基本契約を締結しました。これまで順調に行ってきたマウス前立腺がんモデルを使った共同研究がさらに加速し、新薬開発への大きな一歩となることが期待されています。(泌尿器科学教室)

04

### 放射線治療の精度を高める 固定バーを世界で初めて開発。

すべての部材が非金属製の特殊プラスチックなどの放射線低吸収材で構成された患者固定用ロックバーを世界で初めて開発しました。新たにこのロックバーを導入することで、CT検査や放射線治療の精度、安全性の向上を大幅に望むことができます。(放射線医学教室)



# 今、気になる病

## 大腸がん

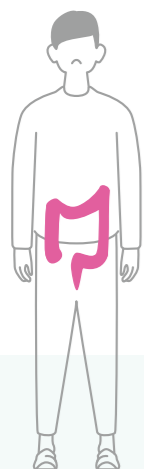
高齢化社会、欧米型の食事の普及が進み、近年増加の一途をたどる大腸がん。  
現在では肺がんや胃がんを抑えて日本人が最も発症するがんとなりました。  
早期発見・治療が基本ですが、進行がんでも十分に手術が可能です。

外科  
奥野 清隆  
教授



### ✓ 注意したい！ 大腸がんのサイン

- 便に血が混じる
- 頻繁に下痢をする
- 便秘がちになった
- 急激な腹痛が起きる
- 最近体重が減った



入院期間が短い  
腹腔鏡手術が一般的に。

早期の大腸がんの場合は自覚症状がほとんど出ないので、早期発見・治療のためには定期的な検診が鍵になります。ただし現在は薬も治療技術も格段に進歩しており、ある程度の進行がんでも腹腔鏡手術が可能に。開腹手術の場合よりも1週間程度短い入院期間で、がんが発症している部位を確実に切除できるようになりました。

直腸がんの場合でも  
可能な限り自然肛門を残すように。

直腸にできるがんは人工肛門を選択する場合がありますが、当院では患者さんのご要望に合わせ、出来るだけ自然肛門を残す形で切除することも選択肢にしています。今後は切除などの標準治療が難しい方に向けて、「ペプチドワクチン」を使った免疫療法を提供できる環境を整えていくことも目標のひとつとして取り組んでいます。

## 胃がん

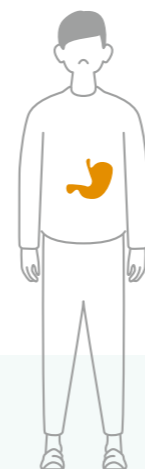
年間で約13万人の日本人が発症しているとされる胃がん。  
初期段階ではほとんど自覚症状がなく、症状が出て胃炎や胃潰瘍と似ているため早期に検診や確定診断を受けることが何よりも大切です。

外科  
今野 元博  
准教授



### ✓ 注意したい！ 胃がんのサイン

- 胃痛がある
- 胸焼けがする
- 食事が通らない
- 黒い便が出る
- 最近体重が減った



さまざまなステージに合わせて  
最新の医療を提供。

当院では初期の胃がんでは消化器内科が内視鏡で、少し進むと内視鏡外科が腹腔鏡で、さらに進むと上部消化管外科や腫瘍内科が治療にあたるなど、どのステージにあっても常に万全の体制を整えています。さまざまなご相談にも対応いたしますので、他院で胃がんと診断された場合もお気軽にご来院いただければと思います。(外科)

80倍の拡大内視鏡で正確に診断。

内視鏡治療が可能かどうかは、がんの範囲と深達度を正しく判断する必要があります。当院では80倍の拡大内視鏡などを用い、素早く正確な診断しています。(消化器科内科)

放射線治療という選択肢も。

当院では進行胃がんに対して抗がん剤を併用した放射線治療を研究中。変化しやすい胃の形状を正確に捉え、計画を立てることで治療精度を高めています。(放射線治療科)

[薬剤部からお伝えしたいこと!]

# くすり の ハナシ

日頃、皆さんが口にされている食べものや飲みものに、くすりとの相性があることをご存知でしょうか?くすりを飲んでいる間は、避けた方がよい食べものや飲みものがありますので、特に注意が必要なものをご紹介します。

## グレープフルーツ(ジュース)

グレープフルーツの果肉に含まれる成分(主にフラノクマリン類)が、肝臓でのくすりの代謝を阻害して、くすりの効果を通常以上に引き出してしまいます。結果として、飲んでいくすり効き過ぎることがあります。例えば、高血圧の治療のためのくすりが、グレープフルーツの影響を受け、効き過ぎることで、血圧が下がり過ぎたり、頭痛やめまいなどの症状を引き起こすことがあります。

## 注意が必要な当院採用の主なくすり名(成分名)

**ノルバスクOD錠**  
(アムロジピン)  
<血圧を下げる>



**リビートル錠**  
(アトルバスタチン)  
<コレステロールを低下させる>

**ネオラルカプセル**  
(シクロスポリン)  
<異常な免疫反応を抑える>

**プログラフカプセル**  
(タクロリムス)  
<異常な免疫反応を抑える>  
など

# おいしい 栄養食 レシピ

delicious nutritional recipe

病院食は普通食を基本にして、減塩食や糖尿食など様々な食種に合わせて展開しています。減塩食は1日塩分負荷6g以下、糖尿食は個人に合わせたエネルギー量をバランスよく摂れることが大きな特徴です。そこで同日の減塩食と糖尿食の献立と、おいしく食べられるポイント、ご家庭でも作れるレシピをご紹介します。



## レシピ紹介

低エネルギー・塩分控えめでもおいしいレシピ

### タンドリーチキン

カレー粉の辛みとヨーグルトのまろやかさ、ケチャップの甘さが合わさって、少量の塩分でも美味しくいただける一品です。また鶏胸肉を使用することで低エネルギーに仕上がります。

作り方

- ① 鶏肉を適当な大きさに切り、フォークで数カ所刺し、塩こしょうをふっておく。
- ② トマトケチャップ、プレーンヨーグルト、にんにく、パプリカ、カレー粉を混ぜ合わせ、そこに①の鶏肉を30分以上漬け込む。
- ③ オープン又はフライパンで焼く。
- ④ キャベツの甘酢漬けを添える。

材料(1人前)

・鶏胸肉皮なし	90g	・おろしにんにく	少々
・塩	1g	・パプリカ	少々
・こしょう	少々	・カレー粉	小さじ1/2
・トマトケチャップ	大さじ1	・キャベツ	30g
・プレーンヨーグルト	15g	・甘酢	小さじ1



## 組み合わせ方

主菜は同じでも、副菜に変化をつけることで減塩食にも糖尿食にもアレンジ可能です。

### さつまいのレモン煮

醤油や砂糖を使用しないので、塩分ゼロ。さつまいのやさしい甘さとレモンの酸味が爽やかな、箸休め的な一品です。



### 彩り野菜の洋風煮

野菜は煮込むことでたくさん食べやすく、低カロリーの一品に仕上がります。また色鮮やかな野菜を使うことで食欲をそそります。



**[減塩食]** エネルギー560kcal タンパク質27g 脂質7g 塩分2g

**タンドリーチキン、さつまいもレモン煮、なすの辛子和え、米飯150g**

**[糖尿食]** エネルギー500kcal タンパク質33g 脂質8g 塩分3g

**タンドリーチキン、彩り野菜の洋風煮、なすの辛子和え、米飯150g**



「私たちは、皆さまの生命と健康を守るため、最良の医療を行い、安心と満足を提供できるよう努めます」を理念とし、昭和二十年十二月に河内長野の地に創設され、平成十六年四月に独立行政法人国立病院機構大阪南医療センターとなりました。

診療科29科、病床数470床を備え、南河内二次医療圏の地域医療支援病院として「急性期医療」を担う基幹病院に位置付けられており、「地域がん診療連携拠点病院」として、それぞれの機能に応じた役割分担を進め、地域連携の一層の充実を図られています。



### 病院からのメッセージ

当センターは、近隣病院との連携を密にし、地域の皆様のニーズに応じた医療を提供できるように努めております。近畿大学医学部附属病院には、多科にわたり患者さんをご紹介させていただいております。またその一方で、当センターにも多くの患者さんをご紹介いただくなど、常日頃より緊密な関係性を築いていただいております。今後も、地域の医療機関と協力しながら、皆さんに信頼される病院として、安全で安心な医療を提供していけるよう努めて参ります。

# 卒業生の今

なみかわクリニック  
「2期卒業生」並河平夫 先生

近畿大学医学部2期生の並河平夫です。同期の案内、由規と二人三脚して河内長野で平成8年に開院し早や21年になります。第一内科に在籍した私は循環器中心に、第三内科と放射線科に在籍した由規は消化器中心に診療しております。地域貢献の一端として地域の方々の相談役になれるよう心がけてきましたが、幸運な事にいつも母校の医学部附属病院に助けられ、近隣諸先生にも助けられて大過なく診療してまいりました。本当に感謝致しております。



患者様が近畿大学病院を非常に頼りにし信頼して受診される事は毎日の診療を通して以前にも増して強く感じております。卒業生として心強く秘かに自慢に思っております。医学部創設50年に向けて今後は移転の大事業が控えております。母校病院の益々の発展を期待すると共に私達も微力ながら応援致しますので、今後とも病診連携を通してご指導頂きますようお願い申し上げます。

なみかわクリニック 〒586-0024 大阪府河内長野市西之山町1-22 tel 0721-54-6155  
診療科目：循環器内科・消化器内科・内科・放射線科

# Message from Nurse

## 認知症看護について

認知症になると何もわからない、何もできなくなるといったイメージがありますが、その人の状態に合わせた関わりをすることで、ご自身でできることも多くあります。困りごとをうまく口に出せない方も多くいる中、その人の視点に立ち、どのように感じ、何に困っているのかというサインをキャッチできることが大切です。周囲の私たちが認知症を正しく理解し、その人が感じていること、行動の意味を考え、一人の“ひと”として関わりができるよう認知症看護の質の向上を図ることが認知症看護認定看護師の役割です。各部署の看護師、高齢者・認知症ケアサポートチームのメンバーと連携し、入院・通院する患者さんのケアの質の向上に取り組んでいます。



110病棟  
認知症看護認定看護師  
中尾 有花

## 認知症看護認定看護師の1日

### 相談 / カウンセリング

認知症と診断のない方が、入院を機に認知症を疑われ受診を勧めるケースも多くあります。ご本人やご家族の生活上の困りごとを聞き、解決策を一緒に考えています。



### ▶ スタッフへの指導

看護師が困ったと感じる症状は、患者さんの困りごとのサインでもあります。なぜその行動や症状が引き起こされているのかというところを考えられるように伝えています。



### ▶ 実践

時間の許す限り患者さんのもとへ行き、直接見てその方を理解するようにしています。また、誰もが見ても理解できるようにわかりやすい表現で記録に残すように心がけています。



# イベントスケジュール

当院では医療に関するさまざまな講座・教室などを開催しております。  
お気軽にお問合せ・ご参加ください。

無料

第30回近畿大学医学部市民公開講座

この予兆に要注意!

## 脳卒中と心筋梗塞 —備え方と付き合い方—

日時 **9.16** (土) 13:00~16:00 (受付開始 12:00~)

開催場所 近畿大学医学部大講堂 申込み 不要

- ① 江戸時代や昭和初期の医療アンティーク展示
- ② 各メーカーによるブース展示~触ってみようAED~

お問い合わせ **072-366-0221** (代表) (内線3873)

お茶代です

¥100

## リボンの会

患者さん・ご家族の皆さんにより語りを中心とした会です。  
がん体験者ピアサポートがナビゲートしてくれます。

開催場所 近畿大学医学部附属病院 PET棟3階 大会議室

時間 14:00~ 申込み 不要

**7.21** (金) 病気と治療への付き合い方  
~上手なコミュニケーションの取り方~

**9.21** (木) 骨転移について  
~早く気づくために~  
痛みとうまく付き合うために

**11.16** (木) がんと仕事の悩み事  
~休職・就職・制度利用~

お問い合わせ **072-366-7096** (がん相談支援センター直通)

無料

## ともに生きる会

私たち病院スタッフと、がん患者さん・ご家族が「ともに生きていく」ことを目標とした会です。さまざまなテーマに元気、がん医療に携わる専門家による講演・意見交換を行っております。  
どなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。

開催場所 近畿大学医学部附属病院 PET棟3階 大会議室

時間 14:00~15:00 申込み 不要

**9.7** (木) 胸膜中皮腫・肺がんについて

**11.9** (木) 緩和ケアはいつから受けるものなの?

お問い合わせ **072-366-0221** (内線3803)

無料

## 肝臓病教室

肝臓病の理解を深めていただけるよう、肝臓専門医などスタッフがわかりやすくお話しします。当院を受診されていない方でも、興味がありましたらどなたでもお気軽にご参加ください。

開催場所 近畿大学医学部附属病院 PET棟3階 大会議室

時間 15:00~16:00 申込み 不要

**8.8** (火) B型・C型肝炎と検査

**10.25** (水) アルコールと肝疾患

**12.12** (火) 肝硬変と栄養

お問い合わせ **072-366-0221** (内線3803)

# 各相談窓口のご紹介

病気のこと、治療のこと、暮らしのこと。当院ではさまざまな相談窓口をご用意して、患者さんのお悩みや疑問、ご相談にお応えしています。

## 患者支援センター

患者さん・ご家族・地域の開業医の先生や医療機関、介護施設や介護事業所の方々、そして院内のスタッフからのご相談やご依頼をお引き受け致します。  
患者さんとの信頼関係を大切にして受診される皆さまの権利を守っていきたくと考えております。

【受付時間】  
月~金 9:00~17:00  
土 9:00~12:45  
お問い合わせ 072-366-0221

## 緩和ケアセンター

がんをはじめ、重い病を抱える患者さんやそのご家族の身体、心などのさまざまなつらさを和らげ、安心して暮らすことができるように診断時から支えていくのが「緩和ケア」です。  
つらさや不安を抱え込まず、専門の医師や看護師にお気軽にご相談ください。

【受付時間】  
月~金 9:00~17:00  
お問い合わせ 072-366-0221

## がん相談支援センター

がん相談支援センターは国立がん研究センターの研修を修了した相談員が、がんに関するご質問やご相談にお答えしています。  
がんの診断や治療についてもっと知りたいとき、不安でたまらないときに一緒に考え、情報を探すお手伝いをしています。

【受付時間】  
月~金 10:00~16:00  
お問い合わせ 072-366-7096

## 相談窓口

## 肝疾患相談センター

肝疾患相談センターでは肝がん、肝硬変、肝炎など、病気の種類に関係なく、肝臓に関するさまざまなご相談に面談とお電話で対応しています。  
また、治療や検査についてだけでなく、経済的な支援制度に関してもお問い合わせいただけます。

【受付時間】  
月~金 9:00~17:00  
お問い合わせ 072-366-0221

## 栄養相談室

糖尿病や高血圧、心疾患、腎臓病に対する食事療法のほか、胃や大腸の手術後の食事の進め方、嚥下機能低下時の工夫など、「食」と「栄養」に関するご相談にお答えしています。  
化学療法中で口内炎や吐気で食べられないなどのお悩みもお聞かせください。

【受付時間】  
月~金 9:00~15:00  
土 9:00~12:00  
※まずは担当医にご相談ください

## 採血室前に車椅子待機場所を設けました。

あなたの一言で「車椅子の方のスペースが採血出入口付近にはなく、困惑し停めておられる様子を拝見します。車椅子と明記された場所があれば、利用されている方もそうでない方も気持ち良く順番が待てると思います。配慮をお願いします」とのご意見を頂戴しました。少しお時間を頂きましたが、2台分の待機場所を作らせて頂きました。また、元々設置していた長椅子は廊下奥の壁際に移設させていただきました。朝の時間帯は特に採血室前が混雑し、患者様には大変ご迷惑をお掛けしておりますが、待ち時間改善にも取り組んでおりますので、今後ともご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

